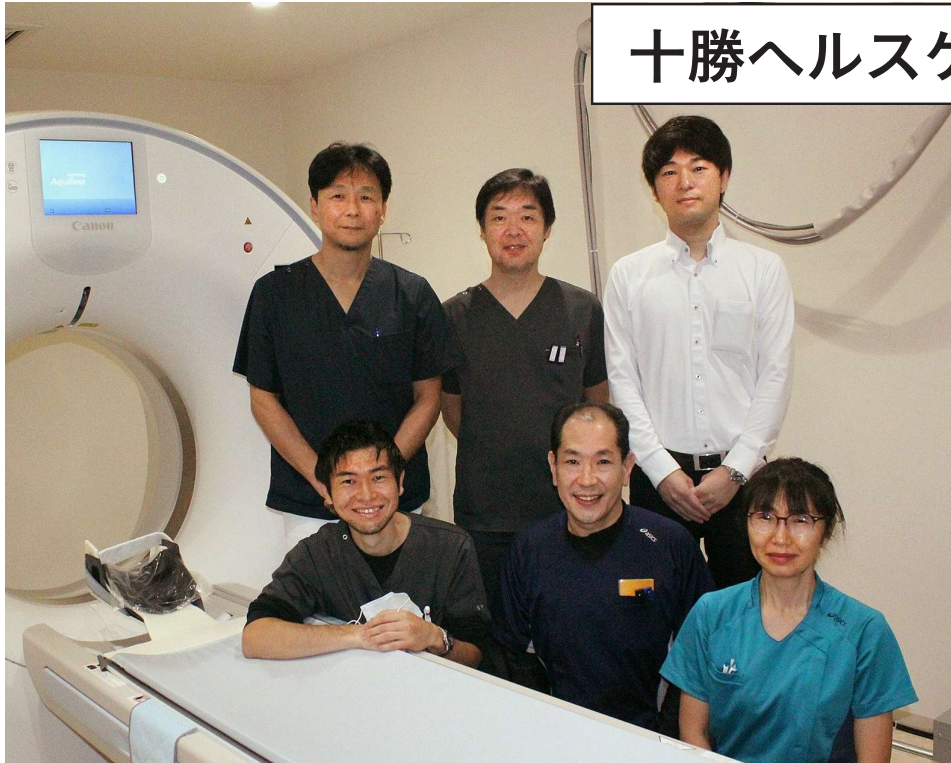


## 十勝ヘルスケアクリニック



「道東の肺がん患者を減らしたい。ぜひ検診に参加して」と呼び掛ける宇野理事長(後列左端)と十勝ヘルスケアクリニックのスタッフら

### 管内希望者、無料で検査

# 「肺がん検診」研究参画

## CTとX線、有効性を比較

医療法人社団愛和会(札幌、宇野英一理事長)は、日本医療研究開発機構(東京)が取り組む「肺がんCT(コンピュータ断層撮影装置)検診の比較試験」(JECSSスタディ)に参画し、愛和会が帯広市内で手掛ける十勝ヘルスケアクリニック(柏林台中町1)で無料肺がん検診の提供を始めた。検診を希望する人に無作為でCT検査とX線検査を提供し、どちらの検査方法が有効かを調査する。

JECSSスタディはCTによる検診の有用性を研究するもので、愛和会によると、道東の医療機関が参加するのは初めて。肺がんは、部位別がんの中で日本人のがん死亡者数の第1位を占めている。肺がん検診は胸部X線検査(レントゲン)と喀痰(かくだん)細胞診検査が一般的だが、がんが大きくなると発見が難しいことなど

だがネックとなっている。一方、高精度の画像が撮影できるCTは、小さながんを含めて早期発見が期待できるが、被ばく線量の多さなどが課題だ。これに対し、JECSSスタディでは被ばく線量を通常の10分の1に当たる2ミリシーベルトまで低減した「低線量CT」で調査を実施する。東北医科大学(仙台市)の佐川元保教授がリーダーとなり、全国の病院・研究機関でCT検査とX線検査を行って比較試験を推進している。

十勝ヘルスケアクリニックでは「早期発見できる環境をつくり、道東の肺がんを減らしたい」(宇野理事長)と考え、プロジェクトへの参加を決めた。今後、十勝管内で幅広く検査希望者を受け入れ、JECSSスタディの取り組みに貢献するとしている。無料検査は来年2月19日までの毎週火・金曜に行う。募集人数は1日最大2人まで。参加条件として「50〜70歳」「たばこを吸わない」「今まで肺がんにかかっていない」など複数の項目がある。肺がんCT検診無作為化比較試験の予約コールセンター(0120・966・361)に問い合わせ、事前に申し込む必要がある。(奥野秀康)